

事務局だより

2020年
3月27日
発行
第130号

事務局：441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘 1-1
豊橋技術科学大学 大学院工学研究科機械工学系
ロボティクス・メカトロニクス研究室 内
[Tel. 0532-44-6678(ダイヤルイン) Fax. 0532-44-6661]
[E-mail: sato@me.tut.ac.jp]
[URL:<http://ulpre-positioning.jspe.or.jp/>]

目次

1. 引き続きよろしくお願ひ致します	p. 1
2. 2019年度全体会議（中止のお知らせ）	p. 1
3. 4月度定例会（中止のお知らせ）	p. 1
4. 小委員会記録	p. 2
5. 運営委員会議事録	p. 2
6. これからの定例会等の予定	p. 4

1. 引き続きよろしくお願ひ致します

はじめに、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）被害の拡大に伴い、お亡くなりになった方々にお悔やみを申し上げ、罹患された方々の一日も早いご回復、ならびに感染の終息をお祈り申し上げます。

2020年度の定例会は、事務局だより4ページ「6. これからの定例会等の予定」に記載の内容で開催を予定しています。定例会のテーマや講師、見学先等ご意見やご要望がありましたらご提案ください。より魅力ある定例会等が開催できるように努めて参ります。

また、お近くに本専門委員会に興味のある方がいらっしゃれば、是非ご紹介いただくと幸いです。事務局までご連絡いただくと、事務局から案内の資料をご送付いたします。

2. 2020年度全体会議 中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大防止の観点から中止とさせていただきます。後日委員名簿とともに資料を送付し、委員会の活動状況、運営状況についてのご報告に替えさせていただきます。

3. 4月度定例会 中止のお知らせ

上記全体会議と同様、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大防止の観点から中止とさせていただきます。今後の対応につきましては現在検討中でございます。後日あらためてご連絡させていただきたく存じます。

4. 小委員会記録

センサ小委員会

【日 時】 2020年1月17日（金） 15時50分～16時50分

【テーマ】 工作機械機上計測による生産性向上

【講 師】 山下 宏氏（株式会社キャプテンインダストリーズ）

【内 容】 まず工作機械機上計測の流れについて説明がなされ、機上計測において必要とされる項目として、プローブの校正、回転軸の校正、空間誤差補正、測定能力評価、測定結果分析などが挙げられた。機上測定ハードウェアとして、標準タッチプローブのほか、超音波厚み測定やラインレーザスキャナーなどもあることが紹介された。機上計測用アプリケーションの特徴として、マクロ操作なしの対話型となっており、ノギスを扱うような感覚で簡単に利用できること、回転軸、任意の角度誤差ベクトルを計測結果に反映できるようになっており、高精度であること、計測内容を限定せず、三次元測定機と同様な計測ができること、機械公差算出や仮想点構築をする演算機能を有していること、ワークオフセット、工具摩耗、温度補正をして計測結果を機械にフィードバックできること、などが説明された。さらに計測の信頼性評価と空間誤差補正についての説明もあった。質疑では、機上測定の特長とデメリット、温度が校正および測定に与える影響などについての質問があり、活発な質疑応答がなされた。

（東北大学 高偉 記）

5. 運営委員会議事録

【日 時】 2020年1月17日（金） 10時30分～12時00分

【場 所】 東京理科大学 森戸記念館（神楽坂） 第3会議室

【出席者】（敬称略）：白石昌武（茨城大）、佐藤隆太（神戸大）、大岩孝彰（静岡大）、深田茂生（信州大）、宮武正明（東京理科大）、高偉（東北大）、田中淑晴（豊田高専）、佐藤海二（豊橋技科大）、明田川正人（長岡技科大）、羽山定治（羽山技術士事務所）、上田 渉（IHI）、磯部 浩（NTN）、佐藤光一（キーサイト・テクノロジー）、若園賀生（ジェイテクト）、山極 高（ミットヨ）
事務局：鳥井恵美子

以上 16名

【議 題】

1. 今後の定例会について

運営委員会資料表紙備考欄の表に基づき、今後の定例会および小委員会担当者について佐藤海二委員長および事務局から説明がなされ、資料の通り進めることを承認した。

2. 2020年度の役員について

資料1に基づき委員長から説明がなされた。山極委員から文献抄録小委員会の制御関係を担当できる委員を推薦してほしいとの依頼があった。また白石委員から副小委員長交代の希望が寄せられた。以上について小委員会内で後任を探すこととした。

3. 2020年度の活動計画について
資料1に基づき委員長から説明があり、11月に開催予定のICPT2020での役割分担についての依頼があった。
4. 2020年度の予算について
資料2に基づき、委員長および事務局から説明がなされた。ICPT2020関連の予算を修正したことを含め承認した。
5. 4月度定例会について
担当の堤委員作成の資料3に基づき、事務局から説明がなされた。講師のうち1名について発表内容が定例会の趣旨に合致するかを別紙の研究内容資料に基づき審議した結果、講師への講演依頼を含め計画通り進めることとした。
6. 6月度定例会について
資料4に基づき担当の大岩委員から説明がなされた。主テーマを「3Dプリンタ (Additive Manufacturing) による金属造形の最前線」とし、大学関係者1名とメーカー2社の講師の紹介があり、審議の結果、計画通り進めることとした。
7. 定例会資料販売に関する規則について
資料5の委員会規約改正案に基づき委員長から説明がなされた。以前の定例会前刷り集等の資料は委員に限り有料配布を認めること、2020年4月定例会以降の資料は公知のものとし外部への有料販売も認めることなどの修正を承認した。会員外への販売価格については法人年会費に準ずる8万円とする案が提案され、承認された。以上について4月全体会議資料に掲載することとした。
8. ICPT2020について
 - 8.1 スケジュールについて
ICPT会期前のスケジュールの確認をした。アクセプタンス通知8/5、登録早割期限8/31および論文投稿期限9/24とすることを承認し、CFPとサイトの修正を行うこととした。以上に伴い、登録サイトを8/1から10/19の期間に設定することを承認した。
 - 8.2 キーノートスピーカについて
韓国および台湾側の基調講演者の依頼状況について白石委員から進捗説明があった。また、国内の講師については、過去の定例会講師から推薦したらどうか、韓国や台湾側講演内容と話題が重ならないほうがよい、CFPにも基調講演者の情報を載せたほうがよい、などの意見があった。1名の候補者に対して委員長が打診することとした。
 - 8.3 ファクトリツアーについて
担当の羽山委員から11/13のツアーの計画進捗状況についての説明がなされた。海外からの参加者のために終了後に新幹線で移動できるような計画がよい、との意見があった。見学先企業について候補があれば羽山委員へ連絡することとした。
 - 8.4 その他
CFPの日本語版を茨木委員に作成を依頼し、精密工学会春季大会等で配布することとした。ポスターのフォーマットは会場のパネルの大きさが確定してからアナウンスすることとした。

9. その他

本専門委員会で発表した内容については、学会発表と同様に公知であること、発表内容については講師に一任するとの確認がなされた。

佐藤隆太委員から2020年度精密工学会春季大会OS申込み件数が6件であったとの報告がなされ、今後対策について検討することとした。

(静岡大学 大岩孝彰 記)

6. これからの定例会等の予定

【定例会】

○6月 [定例会] ≪計画担当：大岩 孝彰 氏≫

日 程：6月26日(金)

第4金曜 開催です

場 所：東京理科大学（神楽坂）森戸記念館

テーマ：3Dプリンタ（Additive Manufacturing）による金属造形の最前線

内 容：13：00～メカニズムと制御小委員会

14：00～講演会

講演会終了後 懇親会

○9月 [定例会] ≪計画担当：高 偉 氏≫

日 程：9月18日(金)

場 所：東京理科大学（神楽坂）森戸記念館

テーマ(仮)：新しい光計測技術

内 容：13：00～ニューアクチュエータ小委員会

14：00～講演会

講演会終了後 懇親会

○ICPT2020

日 程：11月10日(火)～13日(金)

場 所：ホテル メルパルク長野（長野市）

【春秋大会】

・2020年度秋季大会 OS参加

日 程：9月1日(火)～3日(木)

場 所：アクロス福岡

・2021年度春季大会 OS参加

日 程：3月16日(火)～18日(木)

場 所：電気通信大学

以 上